

デジタル人材に求められる業務マネジメント手法

行政課題を解決するためには、

- ①課題の把握・分析 → ② 解決策の企画 →
③解決策の実行 → ④効果の検証 の流れ、
すなわち**PDCA**の考え方が重要です。

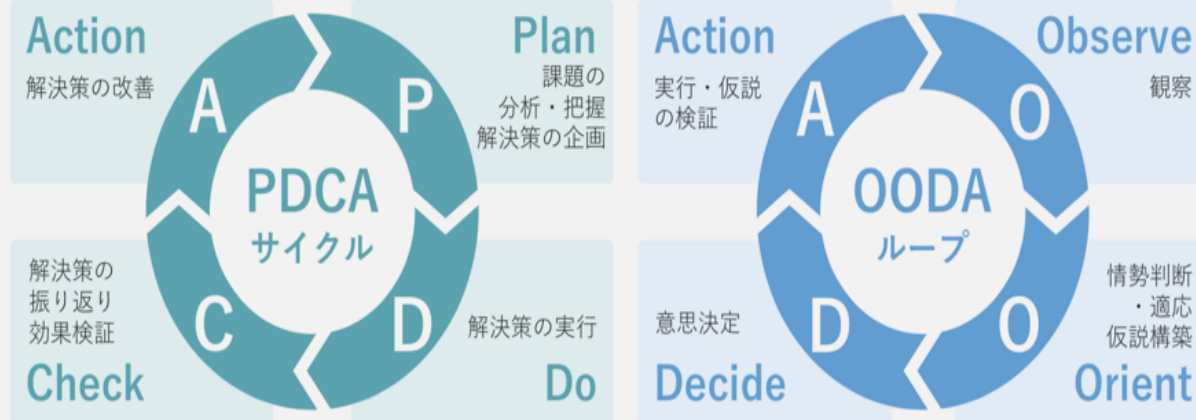
しかし、解決に取り組む途上でも行政課題は常に変化し、解決方策となりうるデジタルテクノロジーも日進月歩のスピードで変化し続けています。

そこで必要になるのが、状況変化に柔軟かつ迅速に対応する**OODA**※の考え方です。

デジタル人材には、行政サービスの企画・検討、構築、実施 など、さまざまなフェーズや状況に合わせて、

PDCAサイクルだけでなく、OODAループにも対応できる柔軟なマネジメント能力

を身に付けながら、課題解決を実現していくことが求められます。



状況に応じて適切な考え方・プロセスを活用し、課題解決を推進

※OODA：アメリカで提唱された、意思決定と行動に関する理論